

科目区分	専門教育科目	科目名	保育実習Ⅰ		科目コード	19Y730	担当者	光武 きよみ、荒木 正平、 蛸原 正貴、織田 芳人、 中村 浩美、福井 謙一郎、 船勢 肇、山中 慶子			
対象学生	幼児教育学科 1年生・2年生		学期区分	1年後期・2年前期	単位数	4	担当形態	複数			
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
大学で修得した内容をふまえ、児童福祉施設などの役割や機能を、観察や子どもとのかかわりを通して具体的に理解する。また、保育の計画、実践、記録、自己評価を経験し、保育士の業務内容や職業倫理について総合的に学ぶ。						1. 「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2. 「創造」 高度な知性と 創造力		3. 「実践」 明確な意思と 実践力	
科目の到達目標						① 誠実性・ 真摯性	② 多様性・ 協働性	③ 知識・ 技能	④ 表思考・ 創造断力	⑤ 主体性・ 自立性	⑥ 就業力・ 貢献力
1.	保育所・施設の社会的役割や具体的活動などを理解する					◎	○	◎	○	◎	○
2.	保育所・施設の概要や1日の流れを理解する										
3.	子どもの様子を把握し、子どもへの理解を深める										
4.	保育者の仕事と役割について把握し、理解する										
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						受講態度（50%） 実習先の評価（50%）					
学外実習（児童福祉施設等1年次12月または3月に10日間、保育所実習2年次8月に10日間）											
課題等への対応						授業外学修時間					
実習事後指導、実習報告会を行い、保育教職実践演習で振り返りを実施している。						60分					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
	<p>1. 施設 実習期間：1年次 12月 10日間 12月期実習生 3月 10日間 3月期実習生</p> <p>児童福祉施設等（保育所以外）で10日間、利用者と生活を共にし、食事や身の回りの支援、また各種作業を共にすることを通して、利用者の実態をりかかいることに努め、施設や利用者の実状に応じた働きかけの大切さを学ぶ。</p> <p>a. 現場における基本的な勤務態度・姿勢を学ぶ。 b. 働きかけの姿勢や技術を学ぶ。 ・ 集団への働きかけ（集団の把握） ・ 個々への働きかけ（個別への対応） ・ 居室内の整備 ・ 職員の協力・連携など c. 記録の書き方を学ぶ。 ・ 利用者との関わりを反省し振り返る</p> <p>2. 保育所 実習期間：2年次 8月 10日間</p> <p>1) 見学・観察実習／参加実習 a. 実習保育所について理解する。 実習園の保育方針や特色を理解する。また、1日の流れ及び施設・設備の状況について把握する。 b. 乳幼児と触れ合う 乳幼児の様子を観察したり触れ合うことにより、乳幼児の年齢や発達状況を把握する。 乳幼児と保育者との関わりの様子を学ぶ。</p> <p>2) 部分実習／総合実習 担当保育者の指導のもとに、実習生が指導計画を立て、準備→展開→評価に至る保育活動を主体的に担当し、全般的な技術の習熟をはかる。</p>					<p>・ 希望実習園調査</p> <p>・ 実習園事前訪問報告書の作成</p> <p>・ 実習課題の記入</p> <p>・ 園長講演会報告書の記入</p> <p>・ 実習報告書の記入</p> <p>・ 実習園事前訪問報告書の作成</p> <p>・ 実習課題の記入</p> <p>・ 園長講演会報告書の記入</p> <p>・ 実習報告書の記入</p>					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	「教育・保育実習の手引」「実習記録ハンドブック」				受講生への メッセージ	保育実習は、あなたが目指している職業を実際に確認する機会でもあります。保育実習指導Ⅰで学んだ内容をふまえ、実りのある実習になるように頑張ってください。					
参考書等	なし										